

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 上地区

平成21年11月11日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	<p>上地区まちづくり計画案では、少子高齢化を打破するために新しい家を外から引き込もうとしているが、都市計画法や農地法の制約がある中で、地域の特性などを考慮して可能な方策はないのか。</p>	<p>都市計画法に基づく市街化区域の線引きの見直しについては、ハードルが高いが引き続き努力していきたい。 また、小田原市が行なっている優良田園住宅制度などを含め、今後新しい手法を検討していきたい。</p>	<p>市街化区域に新たに編入することについては、今後、人口が減少していくことから難しい状況にある。</p>	都市計画課
2	<p>施行はまだ先になるが、農地法が改正され、従来からの所有から使用という考え方になる。 しかし、農地を貸すだけではなくて近くに家がなければ経営ができない。このことを十分踏まえた制度の緩和はできないのか。</p>	<p>少しでも都市住民で農業に接したい方を増やすためには、家を建てるのではなく、今空いている家を借りるという手法もあると考えるが、現時点でそのような問い合わせはありません。</p>	<p>現在のところ、ご意見のような規制緩和について考えはありません。</p>	農産課
3	<p>上地区では、以前に市から「区画整理を行えば、市街化区域として認める」ということで話しを進めたが、地権者間で話しがまとまらずに止めたことがあった。 市は、開発に地権者が金を出して区画整理を行えば、人口は増えるという考えではないのか。</p>	<p>確かに、調整区域の一部を市街化区域に編入するために、市の区画整理ではなく組合施工の区画整理を前提に話し合いがされた経過がある。 上地区の人口を増やすためには、先に説明した優良田園住宅制度を含め、あらゆる方法を研究していきたい。 また、今後新東名のインター周辺の土地利用を検討して行くが、このことが大きな契機の一つになると考えている。</p>	<p>上地区については、人口減少により地域の活力の低下が懸念されます。このため、地区計画の活用など市街化調整区域の性格の範囲内で地域の実情に応じた土地利用や交流人口の拡大に向けた施策等について検討し、地域の活性化に向け取り組んでいきたいと考えています。</p>	企画課
4	<p>市道18号線は上地区の幹線道路になっているが、畦畔の砂が落ちて側溝が見えない状態であるため、全長約600メートルのよう壁工事を平成17年度から予算の関係で1年に100メートルということで整備が始まった。 しかし、平成18、19年度は未整備で、再三の要望により20年度に100メートルの整備がされたが、今年度も整備するのか。</p>	<p>近々中に工事を発注する見込みである。</p>	<p>1月に土地の利用状況等から約60メートル区間の擁壁工事を発注しました。 来年度も引き続き工事を予定しています。</p>	道路公園維持課

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 上地区

平成21年11月11日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
5	<p>新総合計画の10年間で、目指せた事項、白紙になった事業や見直された事業などをどこかで報告すべきと考える。</p> <p>また、現在地域の行政仕組みが全くないため、地域の問題が一時的には動くが立ち消えになってしまう。地域の協働による推進施策を考えて、このような課題を日常的に改善できる仕組み作りをしてほしい。</p>	<p>(要望)</p>	<p>新総合計画は、行政評価と連携し、施策や事業の評価を実施し、社会環境変化に柔軟に対応できる計画とするとともに、計画の進行状況や見直しを図った事業についても市民の皆さんに公表したいと考えています。</p>	<p>企画課</p>
6	<p>現在、国の方針も地方分権と言っているが、現行法規に抵触する問題で非常に前に進みにくいのが実態である。現行法規(都市計画法)に抵触するのであれば、人口を誘導できるようにみんなで知恵をだしてトライさせていただき、やって駄目なものは早く止めるという機会を与えてほしい。</p>	<p>(要望)</p>	<p>都市計画法により、調整区域においては、都市的な土地利用が規制されていますが、地域活力の回復を図る土地利用がまったくできないわけではありません。</p> <p>地域の皆さんとともに、行政も関係各課が知恵を絞り、地域の活性化を図る方策を研究し、将来にわたり安定して暮らせる地域社会を築いていきたいと考えています。</p>	<p>企画課</p>
7	<p>上小学校への3キロメートルある通学路に10年前から防犯灯の設置を要望しているが、一日も早く設置してほしい。</p>	<p>現地を確認した結果、周りに人家もなく非常に暗い場所であることを確認したので、今年度中に設置していきたい。</p>	<p>設置が完了し1月末から点灯しました。</p>	<p>くらし安全課</p>
8	<p>新総合計画の策定に際しては、官民一体ということを進めているが、今後、実施計画等を策定する際に、市は同じ手法を考えているのか。</p>	<p>新総合計画は、課題と目標を行政と市民が共通の理解の上に立って実効性のある計画にするため、今回のまちづくり委員会などで検討した内容を原点として、市の行政計画としてまとめていく。</p> <p>その取りまとめの段階では、時点を捉えて市民から意見を求める手法を考えている。</p>	<p>地域まちづくり計画策定会議の活動は、計画案を提出を持って終了となりますが、ご提案いただいた計画案を検討の出発点として、庁内で策定作業を進め、基本構想案や基本計画案ができた時点で市民や地域の皆さんに公表し、意見をお聞きしたいと考えています。</p>	<p>企画課</p>

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 上地区

平成21年11月11日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
9	今までの財源確保では、総合計画に対する様々な要望等は実施できないと考える。このため、夢でもいいから新税の創設や工場誘致などを計画に表記する考えはないのか。	財源確保については、新総合計画の中で明確にしていきたいが、財源確保の前に維持費が年間56億円を要する約470の公共施設の再配置計画を検討し、無駄を省いていきたい。 また、市税の安定収入のためには、雇用の確保が重要と考える。	今後も厳しい財政状況が予想されますが、本市が活力に満ち、さらに魅力のある持続可能なまちを実現するための計画でなければなりません。 このため、財源の裏づけのある実効ある計画とするため、財源の確保策を進めながら、次期行革プラン、公共施設再配置計画を合わせて策定していく予定です。	企画課
10	上地区まちづくり計画案では、牛とかめん羊、ヤギを振興するとしているが、どのように振興するのか。	この計画は、地域まちづくり計画策定委員が、現状と課題、さらに上地区の将来像を検討した中間的な計画であり、現時点で具体的な振興策は検討していない。	上地区の計画が、実行段階で農業振興策と連携するものであれば支援をしていきたい。	農産課
11	国道246号の渋滞緩和策として、バイパスが計画されているが、甘柿橋から上流の雑ばくな護岸工事をしっかりと行い、そこに道路を築造して、迂回路を早急に整備してほしい。	市に対して迂回路を計画してほしいとの相談はあるが、現時点で新設道路の計画はない。 護岸工事については、国の防災工事の指定を受けた工事だったため、補助を受けるために合致した工法を取ったと県から聞いている。	都市計画道路網に、当該道路を新たな都市計画道路として位置づける必要性は現時点ではありません。	都市計画課
			国道246号バイパスの早期事業化を目指して、厚木市・伊勢原市・秦野市の3市で構成する促進協議会の活動等を通じて、国・県に要望していきます。	国県事業推進課
12	市道933号線の整備は、地権者が増えたことにより遅れていると聞いたが、その後どのようになっているのか地元で説明してほしい。	担当課が早急に、直接伺って説明させたい。	八沢土橋については、地元で説明を行いました。 質問の箇所については、新年度で対応する予定です。	道路公園整備課
13	市は人口の多い地区に税金を多く使用してきた。予算がなくてできないではなく、きちんとできない理由を説明した上で、優先度を決めて、遅れても上地区に予算を使ってほしい。	(要望)	未収金対策の強化、未利用地の売却等による一層の自主財源の確保を図るとともに、職員給与の見直しを行うなど、今後も行財政改革を積極的に推進するとともに、全事業について徹底した見直しを行い、財源の効率的な配分に努めていきます。	財政課

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 上地区

平成21年11月11日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
14	<p>2年にわたり要望した結果、運動公園の陸上競技場が整備されて感謝している。                      今後、利用の面から考えるとダッグアウトの部分についても雨風が防げるようにしてほしい。</p>	<p>(要望)</p>	<p>検討していきます。</p>	<p>スポーツ振興課</p>